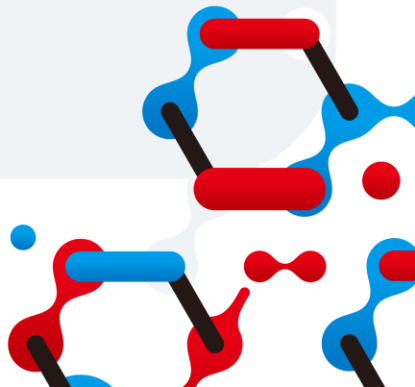


2027年3月期 第1四半期決算説明資料

2026年7月31日



2027年3月期 1Q実績（前年同期比）

売上高	1,524億円	(+9.4%)
営業利益	140億円	(+7.7%)
EBITDA	248億円	(+8.4%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	94億円	(△2.7%)

為替レート USD/JPY : 159円
(前年同期 USD/JPY : 145円)

2027年3月期 1Q予想※（実績対予想）

売上高	1,385億円	(+10.0%)
営業利益	65億円	(+116.0%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	50億円	(+87.2%)

予想為替レート USD/JPY : 150円
(実績 USD/JPY : 159円)

※2026年5月12日発表値。
なお、中東情勢の悪化の影響は織り込んでおりません。

【売上高】増収

- (+) ハイパフォーマンスポリマーズ事業において、POMやLCP等の各樹脂の販売が増加。
- (△) マテリアル事業のアセテート・トウでは、中東情勢悪化に伴う輸送停止や一部顧客向け出荷時期の後ろ倒しの影響を受け減収。

【営業利益】増益

- (+) 原燃料価格上昇に伴う価格転嫁、為替の影響等。
- (△) 原燃料価格の上昇や、セイフティ事業における中国市場での自動車エアバッグ用インフレーター販売数量の減少等。

【親会社株主に帰属する四半期純利益】減益

- (△) 前年同期に補助金収入を計上していた影響。

原燃料価格上昇に伴う販売価格改定の先行、前期末在庫の移動平均影響、サプライチェーンにおける主にハイパフォーマンスポリマーズ事業での需要先行の動きなどにより1Q業績は当初計画よりも上振れ。

一方、下期にかけて顧客における在庫調整等を見込んでおり、会社計画に沿った進捗を想定。

【売上高】増収

- (+) 原燃料価格高騰による販売価格への転嫁による増収。
- (△) マテリアル事業のアセテート・トウでは中東情勢悪化に伴う輸送停止や一部顧客向け出荷時期の後ろ倒しの影響を受け減収。

【営業利益】増益

- (+) ハイパフォーマンスポリマーズ事業の各樹脂の販売増加、為替の影響等。
- (△) 原燃料価格の上昇等。

2027年3月期 第1四半期業績

単位：億円	2026/3 1Q実績	2027/3 1Q予想	2027/3 1Q実績	対前年同期		対予想	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,393	1,385	1,524	+131	+9.4%	+139	+10.0%
営業利益	130	65	140	+10	+7.7%	+75	+116.0%
経常利益	123	70	146	+22	+18.1%	+76	+108.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	96	50	94	△3	△2.7%	+44	+87.2%
為替レート USD/JPY	145	150	159				
EBITDA	228	—	248	+19	+8.4%	—	—

セグメント別 売上高・営業利益（対前年同期 増減・要因分析）

単位：億円

	売上高						
	2026/3 1Q実績	2027/3 1Q実績	増減	増減率	分析		
					数量差	単価差	単価差の内 為替影響
ハイパフォーマンスポリマーズ	518	642	+124	+23.9%	+67	+57	+42
マテリアル	488	457	△30	△6.2%	△53	+23	+28
セイフティ	245	265	+20	+8.2%	△5	+25	+23
スマート	95	106	+12	+12.4%	+2	+10	+6
ライフサイエンス	43	49	+7	+15.8%	+6	+0	+3
その他事業	5	4	△1	△20.0%	△1	－	－
合 計	1,393	1,524	+131	+9.4%	+16	+116	+102

単位：億円

単位：億円	営業利益							
	2026/3 1Q実績	2027/3 1Q実績	増減	増減率	分析			
					数量影響	価格影響	その他	営業利益の内 為替影響
ハイパフォーマンスポリマーズ	67	81	+14	+20.9%	+34	△22	+3	+8
マテリアル	42	42	+1	+2.1%	△21	+2	+20	+9
セイフティ	16	3	△13	△80.8%	△6	+2	△9	+2
スマート	2	7	+5	+215.5%	+2	△4	+7	+4
ライフサイエンス	2	5	+3	+138.8%	+7	+1	△4	+1
その他事業	2	2	+1	+38.1%	+1	－	－	－
合 計	130	140	+10	+7.7%	+15	△22	+16	+25

セグメント別 事業概況（対前年同期）

■ ハイパフォーマンスポリマーズ

単位：億円	2026/3 1Q実績	2027/3 1Q実績	対前年同期	
			増減	増減率
売上高	518	642	+124	+23.9%
営業利益	67	81	+14	+20.9%
為替レート USD/JPY	145	159		

営業利益（対前年同期）		
分析	増減	主な増減要因
数量影響	+34	POM、LCP等の各樹脂の販売数量の増加
価格影響	△22	対前年同期では原燃料価格の高騰による影響
その他	+3	

【対前年同期】増収・増益

POM、LCP等の全樹脂の販売数量が増加したことや為替の影響などにより、増収。

- POMは、米国関税動向に伴う混乱や中国におけるアンチダンピング課税の影響があった前年同期に比べ、販売は回復傾向となり、さらに中東情勢を背景とした材料確保需要もあり販売は堅調に推移。
- PBTは、中東情勢に起因する自動車分野での部材・製品確保の影響などにより販売数量は増加。
- PPSは、AIサーバー向け光コネクタ部品用途が好調なことに加え、中東情勢を背景とした自動車分野での部材・製品確保の影響もあり、販売数量は増加。
- LCPは、AIサーバー向け用途の旺盛な需要が継続したことに加え、シェア拡大により販売が拡大し販売数量は増加。
- COCは、供給・需要面に関し、大きな環境変化はなく販売数量は微増。

セグメント別 事業概況（対前年同期）

■ マテリアル

単位：億円	2026/3 1Q実績	2027/3 1Q実績	対前年同期	
			増減	増減率
売 上 高	488	457	△30	△6.2%
営 業 利 益	42	42	+1	+2.1%
為替レート USD/JPY	145	159		

営業利益（対前年同期）		
分析	増減	主な増減要因
数量影響	△21	アセテート・トウの販売数量減少など
価格影響	+2	為替の影響やケミカル製品における価格転嫁
その他	+20	酢酸市況の上昇による在庫評価影響や期首の繰越在庫影響

【対前年同期】 減収・増益

アセチル 減収（△12.1%）

アセテート・トウは、中東情勢悪化に伴う輸送停止や、一部顧客向け出荷時期の後ろ倒しの影響などにより減収。
酢酸セルロースは、ディスプレイ材料用途はほぼ横這いで推移したものの、繊維用途やプラスチック用途は需要が低迷し、減収。

ケミカル 増収（+1.9%）

酢酸は、原料価格上昇に伴う価格転嫁により販売単価は上昇した一方、中国での供給増加や主要用途の需要低迷により販売数量は減少し減収。
1,3BGは、原料調達懸念により輸出の販売制限を行ったため、販売数量は前年同期に比べて減少したが、原料価格高騰に伴う販売価格への転嫁により増収。

セグメント別 事業概況（対前年同期）

■ セイフティ

単位：億円	2026/3 1Q実績	2027/3 1Q実績	対前年同期	
			増減	増減率
売 上 高	245	265	+20	+8.2%
営 業 利 益	16	3	△13	△80.8%
為替レート USD/JPY	145	159		

営業利益（対前年同期）		
分析	増減	主な増減要因
数量影響	△6	中国での販売数量減少などの製品構成差
価格影響	+2	為替の影響等
その他	△9	経費の期ズレや一過性費用の増加

【対前年同期】 増収・減益

自動車エアバッグ用インフレーターは、中国市場における需要減少の影響を受けたものの、インドでの生産・販売拡大等が寄与し、販売数量は増加。

営業利益は、中国市場における自動車エアバッグ用インフレーター販売数量が減少したことや、経費の期ずれ等により減少。

米国関税影響については、販売価格への転嫁を計画通りに進展。

セグメント別 事業概況（対前年同期）

■ スマート

単位：億円	2026/3 1Q実績	2027/3 1Q実績	対前年同期	
			増減	増減率
売 上 高	95	106	+12	+12.4%
営 業 利 益	2	7	+5	+215.5%
為替レート USD/JPY	145	159		

営業利益（対前年同期）		
分析	増減	主な増減要因
数量影響	+2	電子材料向け溶剤の販売数量の増加
価格影響	△4	原燃料価格の高騰
その他	+7	期首の繰越在庫の影響

【対前年同期】 増収・増益

半導体材料 増収（+31.2%）

電子材料向け溶剤は、半導体需要が堅調に推移したことにより増収。
レジスト材料は、前年同期との販売時期のずれにより数量は減少し減収。

高機能素材 増収（+2.5%）

カプロラクトン誘導体は、原料価格上昇に伴う価格転嫁や為替影響があったものの、中東情勢に伴う出荷制限を行い数量は減少したことにより減収。
脂環式エポキシは、中東情勢に伴う出荷制限を行い数量は減少したものの、新規案件の獲得や原料価格上昇に伴う価格改定、為替影響により増収。
機能フィルムは、車載向けフィルムの市況悪化により販売数量・販売金額ともに減少。

セグメント別 事業概況（対前年同期）

■ ライフサイエンス

単位：億円	2026/3 1Q実績	2027/3 1Q実績	対前年同期	
			増減	増減率
売 上 高	43	49	+7	+15.8%
営 業 利 益	2	5	+3	+138.8%
為替レート USD/JPY	145	159		

営業利益（対前年同期）		
分析	増減	主な増減要因
数量影響	+7	キラルカラム関連や機能性食品素材の販売数量の増加
価格影響	+1	
その他	△4	販売経費や研究開発費の増加

【対前年同期】 増収・増益

キラルカラム関連は、中国向け販売やインドでの分析サービス等が好調に推移し増収。

機能性食品素材においても、サプリメント向け販売が好調であり、中でもエクオールが大きく伸長したこともあり増収。

セグメント別 売上高・営業利益（対予想）

単位：億円		2027/3 1Q予想	2027/3 1Q実績	予想比	1Q対予想の状況
ハイパ フォーマンス ポリマーズ	売上高	550	642	+92	PBT、PPS、LCPの販売数量はいずれも中東情勢を背景とした材料確保需要により計画を上回った。 POMにおいては、販売時期のズレにより数量は計画を下回ったものの、原燃料価格高騰による価格転嫁により、売上高は計画を上回った。 COCは顧客在庫調整の影響を受け、販売数量は計画を下回ったが、原燃料価格高騰による価格転嫁や為替影響により、売上高はほぼ計画並み（需要環境に大きな変化はない）。
	営業利益	42	81	+39	
マテリアル	売上高	440	457	+17	アセテート・トウは、中東情勢悪化に伴う輸送停止や、一部顧客向け出荷時期の後ろ倒しにより、販売数量・売上高ともに計画を下回った。 酢酸セルロースはディスプレイ用途向け販売が堅調に推移し、全体の販売数量は計画を上回った。 酢酸や1,3BG等のケミカル製品は、中東情勢悪化に伴う原料価格上昇分の価格転嫁が進展し、販売数量は計画未達となったものの、売上高は計画を上回った。
	営業利益	18	42	+24	
セイフティ	売上高	250	265	+15	自動車エアバッグ用インフレータの販売数量はほぼ横ばいとなったものの、為替影響等により売上高は増収。 営業利益は、経費の期ズレ等により減益。
	営業利益	4	3	△1	
スマート	売上高	93	106	+13	電子材料向け溶剤は半導体需要の堅調な推移や価格改定効果により計画を上回った。 レジスト材料は前年同期との販売時期のずれにより計画を下回ったが、通年では影響はない計画。 カプロラクトン誘導体および脂環式エポキシは、中東情勢の影響による出荷制約があったものの、原料価格上昇に伴う価格転嫁や為替影響により、売上高は計画を上回った。 機能フィルムは車載向け需要が低迷した一方、電池向け離型フィルムの販売増加により計画を上回った。
	営業利益	0	7	+7	
ライフサイ エンス	売上高	47	49	+2	キラルカラム関連においては、主に中国向け販売やインドでの分析サービス案件増加により好調に推移し、計画を上回った。 機能性食品素材では、主にエクオールの販売数量が概ね計画並みに推移。
	営業利益	0	5	+5	

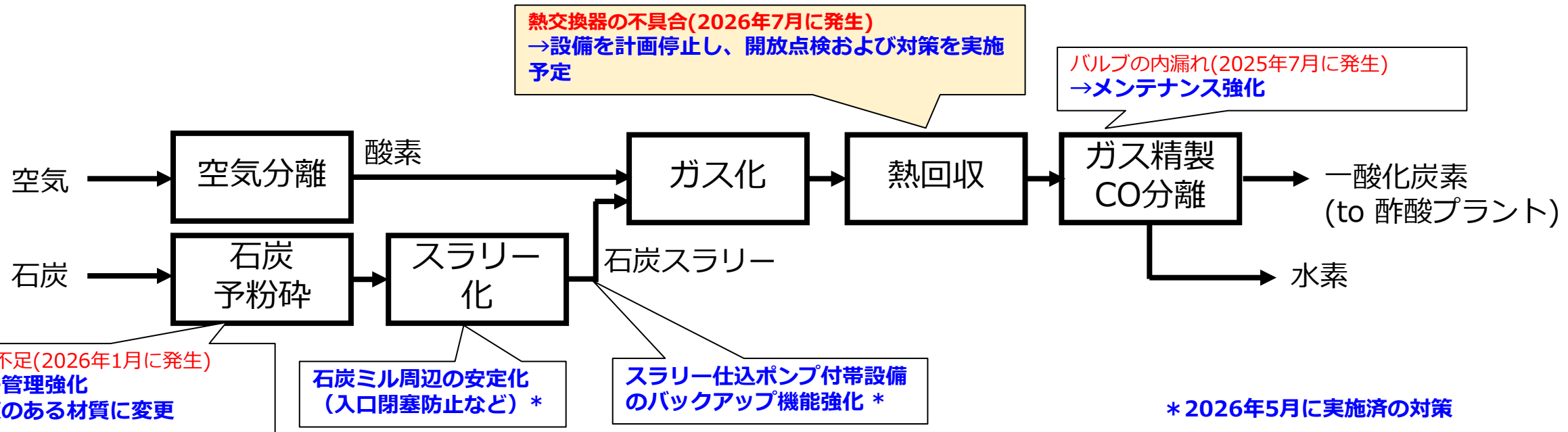
連結貸借対照表

単位：億円		2026年 3月末	2026年 6月末	増減
流動資産		4,032	4,203	+172
	現金及び預金	688	730	+42
	受取手形及び売掛金	1,173	1,139	△34
	棚卸資産	1,745	1,870	+125
	その他	425	464	+39
固定資産		4,308	4,450	+142
	有形固定資産	3,344	3,392	+48
	無形固定資産	111	108	△3
	投資その他資産	853	950	+96
資産合計		8,339	8,653	+314
負債		4,635	4,819	+184
	有利子負債	3,122	3,188	+66
	その他	1,513	1,631	+118
純資産		3,704	3,833	+130
負債純資産 合計		8,339	8,653	+314
為替レート USD/JPY		160	162	

- 資産合計の増加の内、為替の影響は+124億円。
- 棚卸資産は+125億円。このうち為替影響が+13億円。アセテート・トウの販売期ズレに伴う製品在庫の増加、および石炭・メタノールの調達時期集中による増加であり、期末までには解消予定。
- 投資その他資産の増加の内、投資有価証券の評価等による増加は+92億円。
- 負債その他の増加の内、支払手形及び買掛金による増加は+100億円（内、為替影響+11億円）。

CO（一酸化炭素）プラント 熱回収工程の熱交換器の不具合について

2026年7月にガス化工程下流の熱回収工程にて不具合が発生。2026年8月中旬より計画停止を行い、対応する予定。



以下の期間、各プラントの停止を計画。生産停止による業績への影響は、現時点の試算で約8億円の損失を見込む。

【生産停止期間（予定）】

CO プラント：8月中旬から約22日間稼働停止

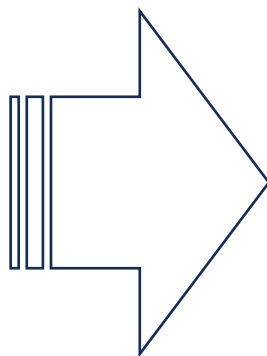
酢酸プラント：8月中旬から約27日間稼働停止

Appendix

2027年3月期からのセグメント変更

2026年3月期

セグメント	サブセグメント
メディカル・ヘルスケア	ライフサイエンス
	ヘルスケア
スマート	ファンクショナルプロダクツ
	アドバンステクノロジー
セイフティ	モビリティ
	インダストリー
マテリアル	アセチル
	ケミカル
エンジニアリングプラスチック	ポリプラスチック社
	ダイセルミライズ社※3



2027年3月期

セグメント	サブセグメント	主な製品
ハイパフォーマンスポリマーズ		ポリアセタール（POM）、ポリブチレン・テレフタレート（PBT）、ポリフェニレン・サルファイド（PPS）、液晶ポリマー（LCP）、環状オレフィン・コポリマー（COC）
マテリアル	アセチル	アセテート・トウ、液晶保護フィルム用酢酸セルロース（TAC）※1、酢酸セルロース※1、生分解性酢酸セルロース（CAFBLO®）※1
	ケミカル	酢酸※1、無水酢酸※1、酢酸エチル、1,3-BG、ポリグリセリン、酢酸セルロース真球微粒子（BELLOCEA®）※2、水溶性高分子（CMC）※3、AS樹脂※3
セイフティ		自動車エアバッグ用インフレーター、電流遮断器、シートベルトプリテンショナー用ガス発生器（PGG）
スマート	半導体材料	フォトレジスト材料、電子材料向け溶剤
	高機能材料	脂環式エポキシ、カプロラクトン誘導体、機能フィルム※1
ライフサイエンス		クロマトグラフィー用カラム・充填剤（キラル・アキラル）、受託分取・分析等各種サービス、動物実験用デバイス（アクトランザ®ラボ）、医療機器（ダイセルインジェクター）、機能性食品素材（エクオール、ウロリッチ®、アストロホップ®など）、分離膜※4、分離膜モジュール※4、透析用水作製装置（MOLSEP®）※4

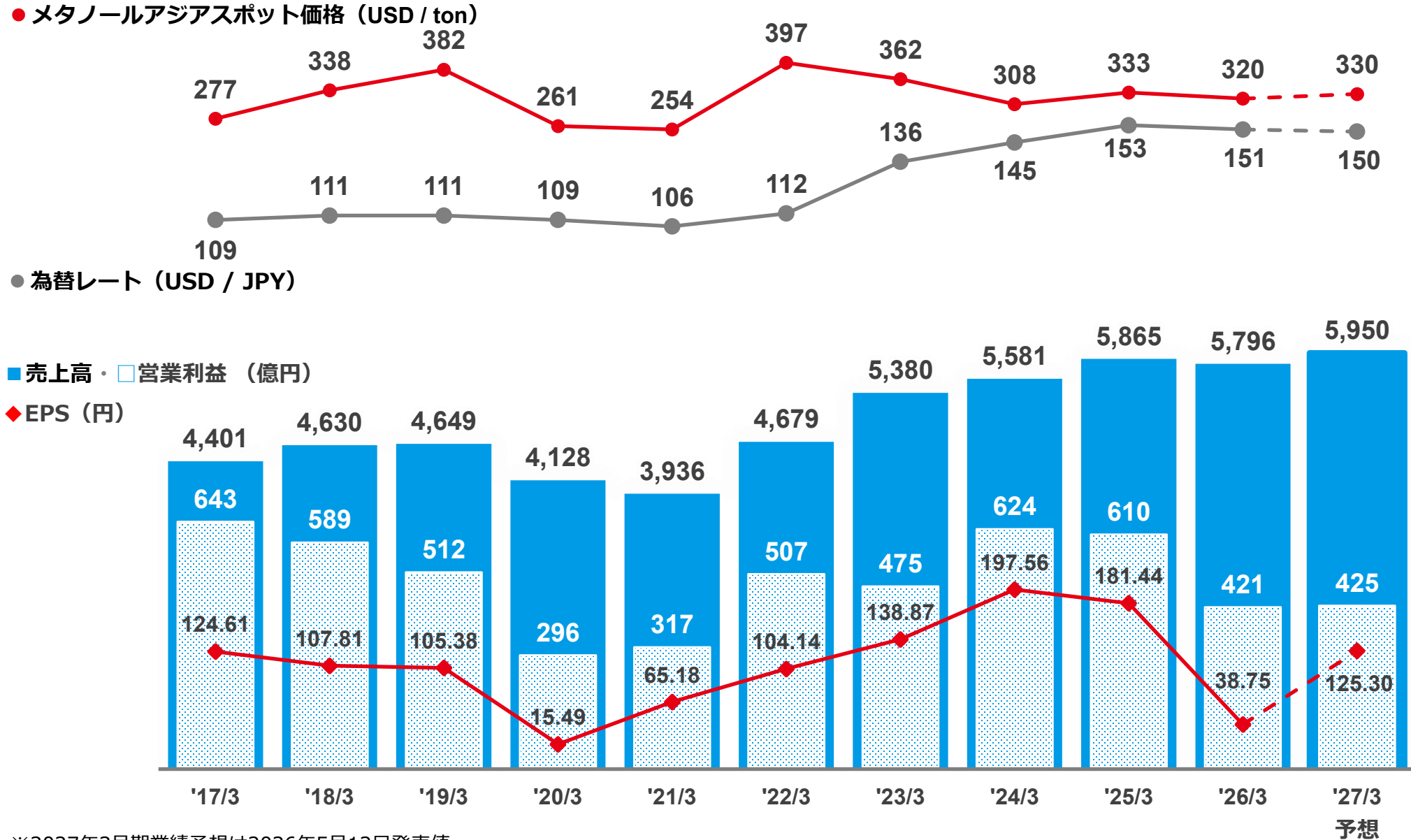
※1：サブセグメントを変更

※2：旧メディカル・ヘルスケアからマテリアルへ移管

※3：ダイセルミライズ（旧エンジニアリングプラスチック）をマテリアルへ移管

※4：旧その他からライフサイエンスへ移管

売上高・営業利益・EPSの推移



※2027年3月期業績予想は2026年5月12日発表値

2027年3月期から、総還元性向60%以上かつDOE 5 %以上に基づき、累進配当を推進

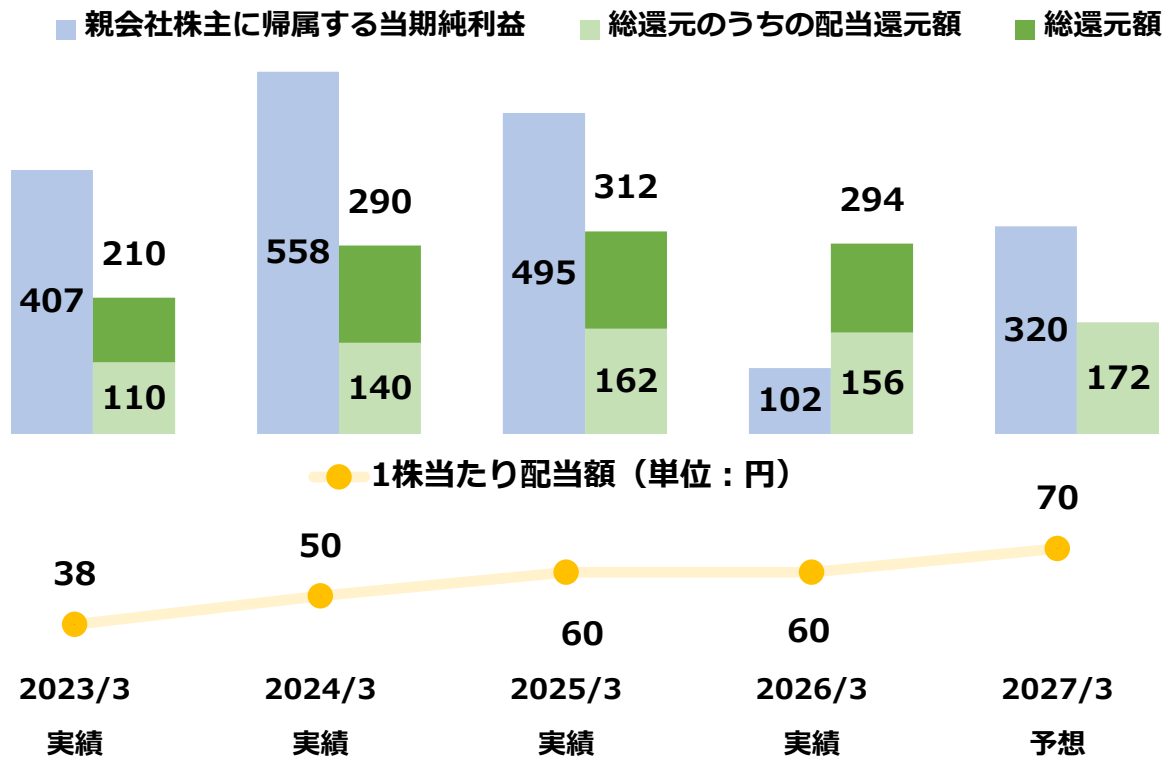
2026年3月期

- ・ 中間配当 30円／株・ 期末配当 30円／株
(年間配当 60円／株 前期と同額)
- ・ **137億円 (1,009万株) の自己株式取得を実施**
(取得期間：2025年11月～2026年3月)

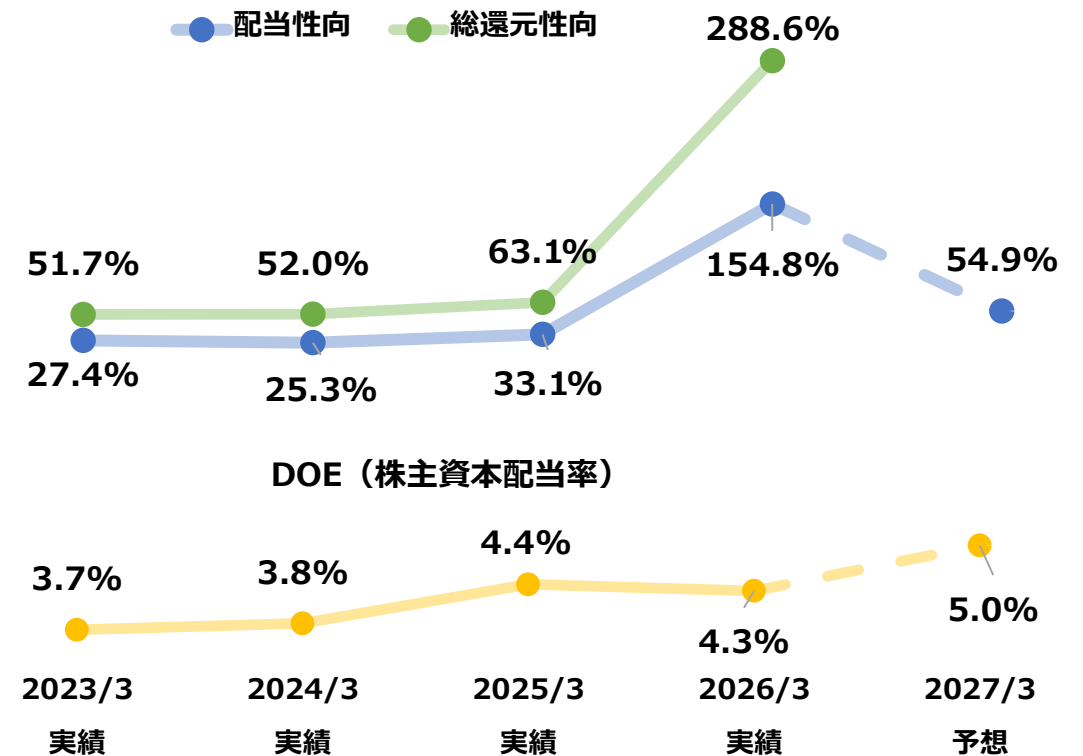
2027年3月期

- ・ 中間配当 35円／株・ 期末配当計画 35円／株
(年間配当計画 70円／株 5月発表時から変更なし)
- ・ 1,080万株の自己株式の消却を実施

親会社株主に帰属する当期純利益および株主還元額推移 (単位：億円)



株主還元指標推移



セグメント別 売上高・営業利益（四半期推移）

	売上高				
	2026/3				2027/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
単位：億円					
ハイパフォーマンスポリマーズ	518	537	558	601	642
マテリアル	488	454	497	520	457
セイフティ	245	253	273	271	265
スマート	95	87	93	103	106
ライフサイエンス	43	42	50	49	49
その他事業	5	5	5	5	4
合 計	1,393	1,378	1,476	1,549	1,524

	営業利益				
	2026/3				2027/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
単位：億円					
ハイパフォーマンスポリマーズ	67	50	38	36	81
マテリアル	42	5	55	47	42
セイフティ	16	11	24	11	3
スマート	2	2	△0	2	7
ライフサイエンス	2	2	6	△1	5
その他事業	2	2	1	2	2
合 計	130	71	123	96	140

※2026年3月期実績は、セグメント変更を反映しています。

2027年3月期 業績予想

単位：億円		2026/3 実績				2027/3 予想※			
		1Q	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
	ハイパフォーマンスポリマーズ	518	1,055	1,159	2,215	550	1,135	1,155	2,290
	マテリアル	488	942	1,017	1,959	440	920	1,020	1,940
	セイフティ	245	497	544	1,042	250	525	570	1,095
	スマート	95	182	196	377	93	190	200	390
	ライフサイエンス	43	85	99	184	47	100	115	215
	その他事業	5	10	10	20	5	10	10	20
売 上 高		1,393	2,771	3,025	5,796	1,385	2,880	3,070	5,950
	ハイパフォーマンスポリマーズ	67	117	74	191	42	105	110	215
	マテリアル	42	46	102	148	18	26	81	107
	セイフティ	16	27	34	61	4	25	52	77
	スマート	2	4	1	5	0	5	5	10
	ライフサイエンス	2	4	5	9	0	2	11	13
	その他事業	2	4	3	7	1	2	1	3
営 業 利 益		130	201	219	421	65	165	260	425
経 常 利 益		123	204	248	451	70	170	256	430
親会社株主に帰属する当期純利益		96	188	△86	102	50	100	260	270
(参考) 為替レート USD/JPY		145	146	156	151	150	150	150	150

※2026年5月12日発表値であり、中東情勢の悪化の影響を織り込んでおりません。
 なお、前年度比較のため、2026年3月期実績は、セグメント変更を反映しています。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

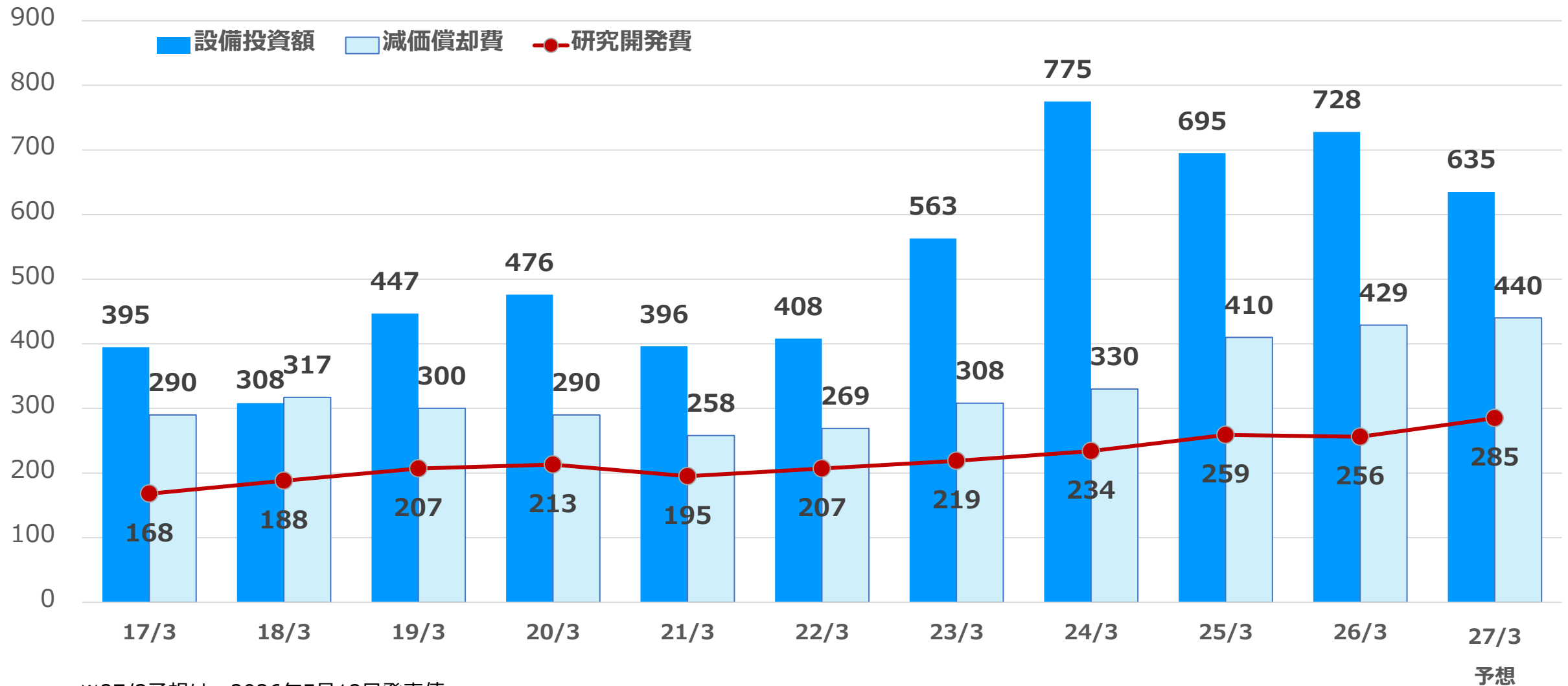
単位：億円	設備投資額		減価償却費		研究開発費	
	2026/3 実績	2027/3 予想	2026/3 実績	2027/3 予想	2026/3 実績	2027/3 予想
ハイパフォーマンス ポリマーズ	355	270	124	125	71	84
マテリアル	236	230	188	185	43	50
セイフティ	96	70	78	90	77	85
スマート	24	35	24	25	41	40
ライフサイエンス	14	25	11	10	22	25
その他事業・全社	4	5	4	5	2	1
合 計	728	635	429	440	256	285

※前年度比較のため、2026年3月期実績は、セグメント変更を反映しています。

※2027/3予想は、2026年5月12日発表値。

設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移

単位：億円



		2026/3 実績		2027/3 計画	2027/3 実績
		上期	下期	通期	1 Q
為替レート (USD/JPY)		146	156	150	159
原料	メタノール アジアスポット価格 (USD/ton)	307	320	330	522
	原油 ドバイ (USD/bbl)	69	75	70	97
	国産ナフサ (円/kl)	64,750	65,650	65,000	117,000

※ 2027年3月期計画には、中東情勢の悪化の影響を織り込んでおりません。なお、2027/3 1Q実績の国産ナフサは想定値を記載しております。

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
 - ・ 本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。
 - ・ いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。